年度	2017	開講学期	通年	単位数	1	時間割コード	
授業科目名	公開森林実習 (冷温帯林と持続的森林・林業)			担当教員	澤口勇雄		
授業科目名:英語	Cool-temperate forest and sustainable forest management (Public forest practice)						
主な対象学生	学部・大学院・作	学科	コース			学年	区分
	農学部					2,3,4	
科目の情報	科目の種類			ESDとの関連		他学部開講科目	
	いわて5大学単位互換科目	○		公開授業講座	高大連携科目		
履修上の条件				キーワード	演習林	公開森林実習	
他の担当教員	山本信次						
学位授与方針との関係							
授業の目的	森林科学を修得し優れた森林管理技術者になるためには、多様な森林生態系や森林管理、森林利用、自然環境・社会などを実体験し、その実体験を基礎に学問を昇華することが重要なことから、本実習を通じて森林と人とのつながりに対する理解を、一層深めることを目的とする。						
到達目標	冷温帯林における多様な森林生態系を基礎に森林管理、森林利用、自然環境・社会を実体験することにより、多様で複眼的視点から森林の価値を理解し、それらのことが体験的に説明でき、森林科学の学習を進める上で基盤となるような能力を修得する。						
授業の概要	授業は、全国大学演習林協議会により行われている単位互換協定による公開森林実習である。授業は岩手大学滝沢演習林、御明神演習林、岩手県・秋田県の冷温帯林において、実習を主体に行われる。主な実習内容は、冷温帯林の自然(フナ林、天然スギ・ヒバ林、天然アカマツ林、亜高山帯林)、長伐期人工林施業、森林管理の実際(高性能林業機械化作業体験)、野生動物・昆虫の世界、人と森と風土などである。						
授業の形式	授業形式は実習主体で行われる。岩手大学演習林において合宿形態(4泊5日)で行われる。						
授業外学習	冷温帯林における森林生態、森林管理、木材産業、山村社会等の特徴について、事前に学習しておくことが望ましい。						
成績評価の方法と基準	評価方法		割合	評価観点			
				関心・意欲	知識・理解	技術・表現	思考・判断
	授業への取り組み		60%	○			
	レポート		40%		○	○	○
評価基準							
レポート(70点)、報告会(30点)により60点以上を合格とする。秀(90点以上)、優(80点～89点)、良(70～79点)、可(60～69点)、不可(60点未満)とする。再試は実施しない。							
履修における留意点	授業は、全国大学演習林協議会加盟大学演習林において実施される。岩手大学農学部集合、同解散である。授業料は無料であるが交通費、宿泊費、食費などの実費が必要である。						
教科書/教材							
参考書							